



東北大学脳科学グローバル COE 主催

第2回 脳カフェ 杜の都で脳と星を語る

7畳間から生まれた宇宙、1350gの宇宙

2008.7.13 [日] 15:00-17:00

せんだいメディアテーク1 F オープンスクエア ※入場無料・予約不要

Program

14:00 開場

15:00 トークセッション開始

15:05 ◆プレゼンテーション1 大平 貴之「星空が出来るまで、脳科学に思うこと」

◆プレゼンテーション2 大隅 典子「脳をつくる星の数の細胞たち」

15:35 対談・ディスカッション

16:30 トークセッション終了

17:00 閉会

※トークセッション前後に、関連した内容の展示を行います。

大平 貴之 プラネタリウムクリエイター

profile

子どもの頃から、太陽は誰のものか？など妙な質問ばかり大人に浴びせて両親を困らせる。小学生の頃に作った夜光塗料の星空をきっかけに、数々のプラネタリウム自作に取り組み、大学時代に、個人開発では前例のないレンズ投影式プラネタリウム「アストロライナー」を完成。

1998年に恒星数100万個の「メガスター」をIPS（国際プラネタリウム協会）ロンドン大会で発表。2000年にスパイラル（表参道）で初の一般公開、移動公演活動を開始する。2003年5月、ソニーを退社、フリーに。同年、メガスターIIを発表、東急文化会館8F（旧五島プラネタリウム）で初公開。その後、日本科学未来館や川崎市青少年科学館に設置。愛知万博さししまサテライト会場はじめとした各地での移動公演、松任谷由実やKIRORO、パンブオチキン、ナナムジカ、SINSKEなどアーティストとのコラボレーションを実現する。

セガトイズと共同開発したリアルな星空を投影できる新コンセプトの家庭用光学式プラネタリウム「ホームスター」シリーズをリリース。学研と、大人の科学マガジンのピンホール式プラネタリウム「マイスター」を開発し、いずれもヒット商品となる。

メガスターIIは、従来ないコンセプトでリアルな星空を再現できる点が評価され、『世界で最も先進的なプラネタリウムとしてギネスワールドレコードに 登録されている。2005年、有限会社大平技研を設立。JAXA（宇宙航空研究開発機構）とメガスターのデジタル化に向けた共同開発プロジェクトを開始。和歌山大学客員助教授。著書には「プラネタリウムを作りました（エクストラージ）」がある。2005年にはフジテレビにて、テレビドラマ化され放送された。「星に願いを〜7畳間で 生まれた410万の星〜」



大隅 典子 東北大学大学院医学系研究科教授

わたしたちの体全体と同じように、脳も、細胞からできています。ヒトの脳をつくる細胞の数は、おそらく1000億くらい。数百億、という人も、数千億という人もいます。ちょうど銀河をつくる星の数と同じくらいです。わたしたち脳神経科学の研究者たちは、そんな星の数の細胞たちを相手に、一つ一つの働きを追ったり、お互いのつながり方を見たり、働きのからくりを知らうとしています。「大人になっても増え続ける脳の細胞」や、「今まで働きがよくわからなかった星形の脳の細胞」、「日々の暮らしと、精神の病気に関わる脳の働き」など、脳神経科学が明らかにしつつある最新の成果も織り交ぜながら、皆さんと語り合う会にしたいと思っています。

profile

東北大学大学院医学系研究科教授。1988年東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了。歯学博士。1988年同大学歯学部助手。1996年国立精神・神経センター神経研究所室長を経て、1998年より現職。専門は 発生生物学、分子神経科学。著書に「心を生み出す遺伝子」等がある。



[主催]東北大学脳科学グローバルCOE、NPO法人脳の世紀推進会議 [協賛]財団法人しんゆう会

*本企画は世界脳週間2008の一環として行われます。

[参加方法]定員250名 予約不要・入場無料（先着250名様に、コーヒーサービス有）

[アクセス] せんだいメディアテーク（仙台市青葉区春日町2-1）

・地下鉄：勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分。・仙台市営バス：仙台駅前-29番乗り場から「定禅寺通経由交通局大学病院」行きで約10分。メディアテーク前下車。

[お問い合わせ] 東北大学脳科学グローバルCOE拠点事務局 仙台市青葉区星陵町2-1

Tel: 022-717-7908 E-mail: nsgcoe-s@med.tohoku.ac.jp URL: http://ja.sendaibrain.org/



先着 250 名様限定



1ドリンク（コーヒー）
無料サービス